

よ かんが  
【読む×考える】

ゆめ なか  
38 夢の中

かいとうれい かいとう  
解答例／解答のポイント

LEVEL 1

かいとう  
解答

a:○ b:○ c:× d:×

LEVEL 2

かいとうれい  
解答例

かれは、ドアの向こうで銀色の髪の女性と出会い、温かいお茶とケーキを味わうという、安心を手に入れました。壁の世界から脱出したと感じました。しかし、その部屋を出てしばらく歩いた後、再びどこまでも壁が続く、閉ざされた世界に戻ってしまいました。そして、前回と同じ「開かないドア」に直面したことで、希望が消え去り絶望に襲われたのです。

かいとう  
解答のポイント

- 絶望の原因は、「壁だけの部屋」という狭くて苦しい状況が繰り返されたことにあります。一度希望の光（女性の部屋）を見ただけに、再び元通りの状況（壁だけの世界）に戻ったときの変化が大きく、「深い絶望」につながったと説明することができます。

LEVEL 3

かいとうれい  
解答例

この物語の「ドア」は、「変化への意志」を表していると考えられます。「誰かいるの？」という声に対して彼が「はい！ここにいます！」と叫び、コミュニケーションをしたことで動きました。そのため、意志を示すことは次の変化につながると考えられます。

かいとう  
解答のポイント

- この物語の「壁」「ドア」「女性」といったものは、何かの比喩であると考えられます。「何のためにそのドアがあるのか」や「どうすればそのドアは開くのか」という点から、暗示するものを考察することがポイントです。
- 考察は自由ですが、物語の展開や描写とつながる内容であることが大切です。
- 「彼」の心理状態を考えてみましょう。特に「彼は聞きたいことがたくさんあったが、結局何も聞かずに部屋を出た。」とあることから、早く部屋を出たかったのかもしれない。そして部屋を出たら、再びドアがあったことから、「人生において繰り返されるものは何か」ということについて考えるのがよいでしょう。